

第二十四組 広報

発行日
2012年5月1日
第147号
発行責任者
組長 紘澤成互

就任あいさつ

二十四組門徒会長 小高寛三



私は、本年来入寺門徒の代表として二十四組門徒会に参加させていただき、その上に門徒会長という重責をお預かりすることになりました。

先日は、壮年会主催の研修会に参加し、京都本山では、お勤めの響く御影堂に身をおき、また工事中の阿弥陀堂の修復工事を見学しました。過去の両堂建立や修復工事の状況について説明を聞き、真宗門徒の信仰心を強く感じ取ることができました。

このような昔の人々の真宗に対する思いや信仰心に思いをはせるとともに、合理主義のみが先走りする現代において、本当に大切なことは何であるのか、今こそ見つめ直す必要があるのではないかと感じました。

我々門徒会の使命は、親鸞聖人の教えが届く環境を整えることにあります。そのために、教化方針にあります「弥陀の本願を信じ、念仏申さば仏となる」を基調に、①代表者の自覚と実践、②同朋会の開設と充実、③寺の事務所機能の充実を重点策として、教化事業を展開して参りたいと考えております。皆様方の行事への積極的な参加をお願いいたします。

最後になりましたが、今後も皆様方の深いご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。ご挨拶といたします。

真宗大谷派本願寺維持財団に係る

「寄付行為変更無効確認等請求事件」第一審判決について

【財団の寄付行為変更は無効】

予てより大谷暢順氏が財団の財産を占有するために、本願寺維持財団の寄付行為の変更を行ったことについて、宗派が真宗大谷派本願寺維持財団を相手取り2010年7月28日に京都地方裁判所に提訴していた「寄付行為変更無効確認等請求事件」の第一審判決が、2012年3月27日言い渡されました。

裁判所は「寄付行為に加えられた変更（目的の変更、残余財産の帰属先の変更）は、いずれも無効である」との宗派の主張を基本的に認める判決を下しました。そもそも同財団は1912年（大正元年）にご門徒の篤信によって設立され真宗本願護持のための宗派への助成のために管理運営すべき法人でありました。それを理事長の地位を利用した大谷暢順氏が宗派との関係を排除し、門徒の信託を受けた財産を私物化し占有を続けてきたもので、今回の判決は、当財団が真宗大谷派への助成を唯一の目的とする法人であり、解散時の残余財産は宗派に帰属されるべきことが法的に確認されたことを意味します。

一方、同提訴で同財団が宗派に無断で不動産を処分し取得した相当額である「200億円の支払い」請求については棄却されたため、一部報道ではあたかも宗派が敗訴したかのような表現がありました。宗派にとって極めて有利な判決であり、安原宗務総長は「主張が認められ財団問題解決に向け大きく一步前進したと受け止め、司直の至当なる判断に敬意を表すると述べ、不動産処分の件については、所期の目的を達成すべく直ちに控訴の手続きを行う」と決意を表明されました。皆様のご理解とご支援をお願い致します。〈秦〉

～婦人会研修会に参加して～

覚念寺 前田朝子

まれに見る好天に恵まれ、親鸞ゆかりの地を訪ね歩かせていただきました。

東本願寺では、春の法要の中「供茶」という行事を見学させていただきました。供茶ということばも、これ程ていねいに行われることも、はじめて知りました。

六角堂は、聖人が毎晩法然の法話を聞きに行かれた所だった。ここだったのかと思いました。当時のこの地はどんなだったろうと、しだれ桜の咲く中、心を馳せました。

9才のとき得度をされたといわれる青蓮院は、その部屋、その部屋、襖や御簾、お庭へと平安後期から守り継がれてきた、ことばに表せない厳かなものを感じました。皇室に関係のある寺院だけに、庭園全体の構成は格調高い優雅さで包まれているとのことでした。

安養寺は、聖人が29歳で法然の門弟になられ、貧しい人々も救われる南無阿弥陀佛の教えを説かれ広められました。法然上人が法を説かれた所に、法垂れの岩がありました。

一足早く咲くしだれ桜の円山公園を散策しながら、美しいよき日にめぐりあえたご縁を、ありがたく思わせていただきました。ありがとうございました。



長浜教区第24組社会問題研修会

H24.3.24

「震災に学ぶ念仏者の絆」

講師 太田浩史 師

西阿閉の覚勝寺様にお世話になり、寒い日でしたが、22ヶ寺から66名と多数の門徒様の参加を頂きました。講師の太田師は高岡教区大福寺住職。昨年3月末には、袈裟を着て、津波や地震で犠牲になった人達の遺体安置場に行き、棺の前で「正信偈」を唱えていると、後ろからすすり泣く声が聞こえた。弔う機会もなかったのか珠数を持って手を合わせている人もいた。

被害寺院と連絡をとり緊急性の高い物資をリストアップ。全国の仲間の僧侶とネットワーク

で結び、多くの支援物資を送った。

紙面の都合で、講話の中身が記せないのは申し訳ないが、江戸末期に北陸から真宗門徒の相馬への移民のお話など、初めて知る事で実のある研修会でした。



24組教化委員 社会部会 雨森善司

おしゃがさまのおはなし と ペロリお餅つき

24組 子どもの集いが4月3日明楽寺で開催されました。

8ヶ寺から子どもたち43名、引率7名のご参加を頂きました。

当日は春の嵐となりましたが、子どもたちは元気いっぱい遊んでつきたての美味しいお餅をいただきました。お餅つきでは明楽寺ご門徒の方々、紙芝居ではこぶしの会の方々にご協力をいただきました。



お餅は用意していた餅米8升をみんなでペロリ!

いろいろな種類のトッピングの中でチョコレート、砂糖醤油が人気でした。たのしくおいしい子どもの集いとなりました。ご参加、ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。



蓮如さま 今通らはる 早よおいで

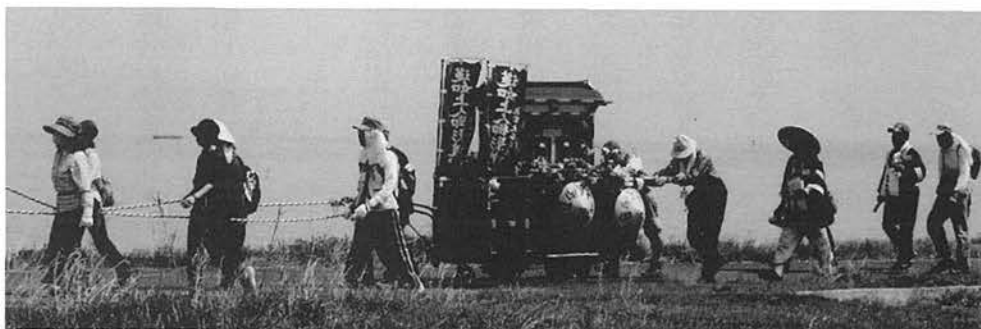
蓮如上人御影道中

○明楽寺

5月5日 午後8時から

勤行・法話 國分 大慶氏

No.	月日	到着
4	5月5日	柳ヶ瀬 景好寺
5	5日	東野 田川宅
6	5日	下余呉 池畑宅
7	5日	坂口 平野宅
8	5日	木之本 明楽寺(泊)
9	5月6日	千田 林宅



別院・組・各寺の法座等のご案内

会場	法座名	期 日	法話者等
長 浜 別 院 (大通寺)	御坊さん人生講座	5月15日(火) 午後7時～	加納 実紀代氏
	御坊さん人生講座	6月8日(金) 午後7時～	朝治 武氏
	しんらん講座	5月17日(木) 午後2時～	古田 和弘氏
	しんらん講座	6月14日(木) 午後2時～	古田 和弘氏
	長浜教区同朋大会	5月20日(日) 午後1時30分～	丸田 善明氏
浄 教 寺	永 代 経	6月3日(日) 午前・午後	加田岡 隆昭氏
	南 部 相 続 講	6月17日(日) 午前9時30分～	三宅 正隆氏
明 楽 寺	組同朋大会	6月10日(日) 午後1時～	木村 宣彰氏 (前大谷大学 学長)
樹 徳 寺	永 代 経	5月27日(日) 午前・午後	加田岡 隆昭氏

第二回育成員研修会報告

(寺族部会長 秦)

去る三月三十一日(土)午後七時より、本年度第二回の育成員研修会を妙覚寺(高月町東柳野)において開催致しました。当日は大変な雨風で寒さ厳しい夜でしたが、組内から住職・坊守・寺族・門徒等二十八名が参加しました。

今回は、「正信偈に学ぶ」をテーマに、九州大谷短期大学名誉学長の古田和弘先生をお招きし、『正信偈』の構成や意味内容を分りやすくご教示いただき大変有意義な研修会となりました。仏を讃え聖人の信心を明らかにされた最初の二句の「総讚」、更に阿弥陀如来や釈尊の教えについて述べられた「依釈段」、続いて念仏の教えについての七高僧の解釈を讀えられた「依釈段」の部分詳しく教えていただきました。平常勤行としてお勤めしている「正信偈」の意味を改めて学ばせていただくと、親鸞聖人のご苦勞が偲ばれます。育成員研修会は例年住職・寺族が対象でしたが、今年度から広く門徒の皆様にも参加していただくことになりとてもよかったですと思います。

最後になりましたが、暴風雨の中、会場の準備等何かとお世話に成りました妙覚寺寺族並びに役員の皆様に、心から御礼申し上げます。



先号でご紹介しました組門徒会員名に間違いがありましたので、訂正しお詫び申し上げます。

覚念寺門徒会

前田一彦 (正)

前田勝彦 (誤)